

三米貨一弗ハ邦貨二圓三錢ニ當リ邦貨九圓五十錢ハ英貨一磅ニ當ルトキ
ハ米貨百六十五弗ハ英貨何磅ニ當ルヤ、但磅以下ハ分數ニテ示セ

珠算(四則)(三十分)

1 $(1872 + 254 \times 350 - 8500) \div 48 =$

二 或人五十錢銀貨二枚ヲ持ツテ三錢切手十四枚ト通常葉書若干枚ヲ買ヒ
十錢白銅貨二枚ト二錢銅貨四枚トノ釣錢得タリ通常葉書ハ何枚ナリヤ

地理(一時間)

一 左記ノ所在府縣名又ハ國名ヲ問フ

- 熟田 神宮 () 佐世保鎮守府 ()
- 足尾 銅山 () 道後温泉 ()
- 猪苗代湖 () 清水港 ()
- 夕張炭坑 () 錦帶橋 ()

八幡製鐵所 ()

第十三師團司令部 ()

二 朝鮮ニ於ケル主ナル都會七ヲ舉ゲヨ
三 左記ノ都會ハ何レノ國ニ在リヤ

- シカゴ () ボストン ()
- グラスゴー () マンチエスター ()
- 羅馬 () 漢口 ()
- ブラッセル () リオン ()
- モスコー () ハンブルグ ()

歴史(一時間半)

一 左記ノ事項ヲ簡單ニ説明セヨ

建武ノ中興 廢藩置縣 西南ノ役

二 左記(1)ノ人々ハ(2)ノ時代ノ何レニ屬スルヤ

(1) 毛利元就 貝原 軒 源義家 山田長政 日蓮上人
 上杉謙信 吉備真備 青砥藤綱 阪上田村麿 阿倍仲麿

(2) 江戸幕府時代 鎌倉時代 奈良時代 平守時代 戰國時代

法 令 (一時間半)

一 左ノ事項ヲ問フ但(イ)(ロ)ノ内一問ヲ選擇セヨ

(イ) 通常郵便物ノ種類 (ロ) 内國電報ノ種類

二 左ノ事項ヲ問フ但(イ)(ロ)ノ内一問ヲ選擇セヨ

(イ) 郵便物トシテ差シ得サルモノハ何ソヤ

(ロ) 電報ノ送達ヲ停止シ得ル場合如何

三 郵便、電信ノ取扱ニ關シ無能力者ノ通信官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ有效ナリヤ

四 郵便、電信事業ハ何人ニテモ之ヲ經營シ得ルヤ

五 書留郵便物ト普通郵便物トノ差異如何

名古屋遞信局の分

讀 書 (一時間)

一 左の語に片假名にて讀方を附したる上簡易に其意義を説くべし
 妥協 矛盾 匪躬の節 直情徑行 私淑 村度 鬚鬣 角逐 肯綮 荏苒

二 左の文章に傍訓を附し且つ解釋せよ
 國家の隆替は國民道德の消長と密接の關係を有す國民の道德健全なれば國勢興隆し國民の道德不健全なれば國勢萎靡す、其の最も顯著なる例は羅馬帝國の興亡に於て之な見るを得べし、羅馬の初めて興るや國民は思慮健全にして品性高く意思鞏固にして犠牲的精神に富み平時は耒耜を執

りて農耕に従事し、一朝邊境に事あれば各千才を揮ひて兵馬の間に馳驅し事終りては又田園に歸耕するを常とし夙夜匪懈毫も怠ることなかりき

作 文 (一時間三十分)

一 友人の書記補試験合格を賀する文 (普通往復文)

二 受験者の前夜 (記事文)

算 術 (一時間)

1 一升樽の内法縦横各四寸九分深さ二寸七分なり、内法長さ六尺三寸、幅四尺二寸深さ九寸六分の箱の容量如何

2 男子一人と女子一人との力の比は 5:3 として男子井人にて十二日に成就すべき仕事を女子二十四人にて成さしむるときは幾日を要するか

地 理 (一時間)

一 地中海に瀕する國名を問ふ

二 左の都市の屬する國名を問ふ

(イ) ホンベイ (ロ) フイラデルフィア (ハ) マンチエスター

(ニ) ハンプブルグ (ホ) マルセイユ

三 我國輸出入品中重なるもの各五種を挙げよ

四 東京下關間の鐵道に沿へる市名を順次列舉せよ

歴 史 (一時間)

一 王政復古の由來を略述すべし

二 左の人々の事蹟を問ふ

(イ) 僧空海 (ロ) 和氣清麿 (ハ) 本居宣長 (ニ) 吉田松蔭

法 令 (一時間)

一 郵便物を書留とすると、せざるとにより其結果に於て如何なる差異ありや

二 公衆の差出したる電報は如何なる場合に於て電信官署に於て其送達を差止めらるゝや

三 左の事項を簡單に法律上の根據を具して答ふべし

イ 左記のものを小包郵便として差出し得るや

(1) 信書 (2) 衣服 (3) 書籍 (4) 火藥

ロ 郵便物の名宛人は該郵便物の受取を拒むことを得るや

ハ 電報發信者が電報本文中商品代價を百圓と頼信紙に記載し、郵便局に差出したるに受信者へは十圓を記載せる電報着したるが爲め發信者は九十圓の損失を受けり此場合に於て發信者は郵便局に對し其損失の賠償を要求することを得るや

筆 蹟 (一時間)

楷 書 (二行に書くこと)

白露横江水光接天

行 書 (二行に書くこと)

千里の道も一步より始まる

珠 算 (一時間半)

(1) $346978 + 21774 \div 382 - 517 \times 446 =$ 珠

(2) (收入) 三千六百七十二圓五十八錢 (支出) 九百三十六圓四十二錢

(支出) 三百六十七圓四十二錢 (收入) 二百六十七圓七錢 (收入) 一萬

七千六百八圓五十二錢 (支出) 二百三十九圓六十一錢 (收入) 三萬

四千九百七十圓八錢 (支出) 七百二十八圓四錢 (收入) 六百七十七

圓八十六錢 (收入) 九千二百一十一圓七十四錢 (收入) 二萬七十四圓

二十一錢 (支出) 二千五百六十七圓九十一錢 (收入) 四萬二千九十

圓五十錢 (支出) 九百五十二圓九十錢 (收入) 三千七百八十八圓六

十五錢

右差引殘金幾何

小學校卒業者判任官になる近道終

大正十一年五月廿三日印刷
大正十一年五月廿五日發行

定價一圓二十錢
特價金九十五錢

不許複製

編輯兼發行人 日原信利
東京市赤坂區新町五丁目四十一番地

印刷人 千野象三
東京市芝區西久保廣町十九番地

印刷所 千野活版所

東京市赤坂區新町五丁目四十一番地

發行所 日本青少年教育普及社



VI
VII

終

